



Akane's WORKING HOLIDAY PROGRAM EXPERIANCE!



仕事探して気を付けたこと

仕事探しでは、「常に仕事探しのアンテナを張っておくこと」を意識していました。

特に面接では、経験やスキルだけではなく、いかに笑顔で相手に良い印象を持ってもらえるかを一番大切にしていました。ホテルに行ったときは景観を褒めたり、どこに仕事のチャンスがあるかわからないので、積極的に行動するようにしていました。

ワーホリプログラムのトレーニングで行ったバーにも、後からもう一度行きました。

もともとハーバーサイドホテルの景観がすごく好きで、WHPのトレーニングで初めて行ったときにも写真をたくさん撮っていました。

面接でも、「この場所がすごく好きで、トレーニングで初めて来たときにたくさん写真を撮りました」と、自分が実際に感じたことを話しました。





Akane's WORKING HOLIDAY PROGRAM EXPERIANCE!



仕事が見つかるまでの流れを教えてください

実は、最初から順調に仕事が決まったわけではありません。
ワーホリプログラムの中でこのホテルの面接を受けたのですが、私には仕事が決まりませんでした。
実際にこのホテルで仕事が決まったのは、もっと英語力の高いクラスメートでした。
その後、仕方なく自分の希望とは違う職種の仕事をしていたが、ホテルで働くことは諦めずに、できることを続けました。
CCEBのスタッフの動画撮影のお手伝いで別のホテル、Hiltonに行ったときにも人事のビビアンさんのオフィスにお邪魔したり、面接の機会があり、そこでまた面接を経験しました。そうやって面接経験を少しずつ積み重ねていったことで、面接そのものにも慣れていきました。
そして、最初にこのホテルで面接をしてから1か月以上経った頃、ホテルから連絡が来て、再び面接に呼んでもらいました。
その頃には何度か面接を経験していたので、最初の頃よりも自信を持って話すことができました。
ホテルの良いところについても、自分の経験を交えながらしっかり伝えることができました。
WHPのプログラムの中ですでにこのホテルを訪れた経験があったことも良かったと思います。
また、CCEBとホテルとのネットワークがあったことも、私の仕事探しにとって大きな助けになりました。
一度面接で仕事が決まらなくても、それで終わりではありません。
自分の希望とは違う仕事をしながらでも、面接を受けたり、いろいろな人と出会ったりして動き続けたことで、最終的に希望していたホテルで働くことができました。



Akane's WORKING HOLIDAY PROGRAM EXPERIANCE!



このコースをやってよかったことは？

もちろん、仕事が見つかったことが一番良かったことです。それだけではありません。

実際にホテルに行ってから友達ができたり、その友達の友達と知り合ったりして、どんどん人とのネットワークが広がりました。ホテル関係者との知り合いも増えて、仕事だけではなく、人とのつながりが広がったことも、このコースを受けて良かったと感じています。

コースの中で印象に残っていることは？

特に印象に残っているのは、面接練習と、人事の方と直接話せる機会があったことです。

実際の面接を想定して練習できたことで、面接でどのように自分をアピールすればいいのかを考えることができました。

また、人事の方と直接話すことで、実際にホテルで働くことについて具体的に知ることができました。

そして、バートレーニングも楽しかったです！

実際に体験しながら学べたので、ホテルやホスピタリティ業界について知るきっかけにもなりました。

どんな人におすすめしたいですか？

ワーホリで仕事を探している人にはもちろん、みんなにおすすめしたいです。私はもともと看護師だったので、これまでは看護師の世界しか知らない部分がありました。このコースを通してホスピタリティ業界を知ること、今まで知らなかった世界に触れることができました。

だから、仕事を探している人だけではなく、新しいことに挑戦して視野を広げたい人や、ホスピタリティ業界について知ってみたい人にもおすすめしたいです。

Akane's WORKING HOLIDAY PROGRAM EXPERIANCE!



今の仕事で気に入っているところ

今の仕事で気に入っているのは、シフトが安定していることです。
現在は週5日シフトに入っていて、安定して働くことができます。

そして、英語環境で働けることも大きな魅力です。

スーパーバイザーと毎日やり取りしたり、他の部署の人やいろいろなスタッフと関わったりする機会があります。

自分の仕事内容について話したり、仕事をしていて気づいたことを共有したり、お客さんと関わったりと、毎日いろいろな場面で英語を使います。日本にいたら関わることがなかったかもしれないような人たちと一緒に働いているので、毎日が新鮮です。

ランチタイムや仕事帰りの時間が一緒になると、他の部署の人とも話をしたり、一緒に帰ったりすることもあります。

ランチルームにも恵まれていて、仕事以外の時間にもスタッフ同士で交流できる環境があります。

そして、仕事帰りに同僚とマテ茶を飲みながら一緒にEsplanadeを歩いて帰っているときに、

「ここに入れてよかったな～」

と感じます。

最初は一度面接に落ちて、希望とは違う仕事をしていた時期もありました。

それでもホテルで働くことを諦めずに動き続けたことで、今は英語環境の中で、いろいろな人と関わりながら働くことができます。

仕事だけではなく、人との出会いや新しい世界を知るきっかけをくれたことも、ワーホリプログラムを受けて良かったと感じる理由です。